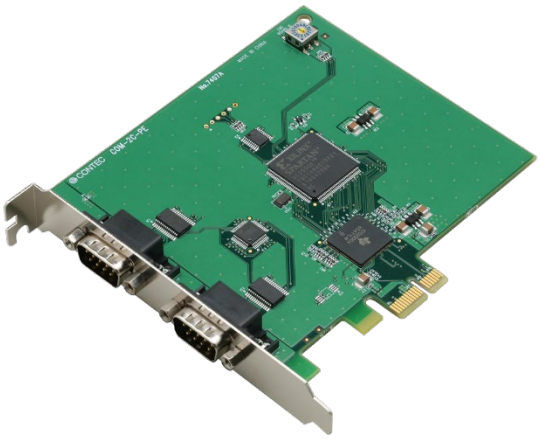
PCI Express 対応
RS-232C シリアル通信ボード 2ch タイプ
COM-2C-PE



※製品の仕様･色･デザインは、予告なしに変更することがあります。

本製品は、パソコンに RS-232C 準拠のシリアル通信機能を拡張する PCI Express バス対応ボードです。

COM-2C-PE は、RS-232C 準拠の COM ポートを 2ch 搭載しています。

各チャネル、送受信別に 128byte の FIFO バッファを搭載、921,600bps までのボーレートに対応しています。1 台のパソコンに最大 16 枚までのボードを増設でき、COM1 - COM256 までの設定ができます。

Windows/Linux に対応したドライバを用意しています。

※本内容については予告なく変更することがあります。
※最新の内容については、当社 Web サイトをご覧ください。
※データシートの情報は 2024 年 4 月現在のものです。

特長

■RS-232C シリアル通信、最高 921,600bps に対応
本製品の COM ポートは、最高 921,600bps に対応しています。
COM-2C-PE は、RS-232C 準拠の COM ポートを 2ch 搭載しています。

■Windows/Linux の標準 COM ポートとして使用可能
当社デバイスドライバ COM-DRV と組み合わせることで、パソコン本体の COM ポートと同様に使用することができます。Win32 API における DCB 構造体を用いた通信や Linux 標準のシステムコールに対応しています。また、ハードウェアの動作確認や機器との通信テストが行える診断プログラムも提供しています。

■最大 16 枚までのボードを増設可能
1 台のパソコンに同じ型式のボードを最大 16 枚まで実装できます。

■各チャネルに送信 128byte 受信 128byte のバッファメモリを搭載
各チャネルに送信専用 128byte、受信専用 128byte のバッファメモリを搭載しています。 バッファメモリは FIFO 形式で、高速な通信やデータ送受信時での CPU 負荷軽減に役立ちます。

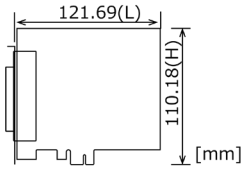
■パソコンと同じ使いやすい 9 ピン D-SUB コネクタを採用
RS-232C で最も汎用的な 9 ピン D-SUB コネクタを採用しており、市販の RS-232C 準拠のケーブルが使用できます。

■RS-232C 制御線をソフトウェアで制御・監視が可能
RTS, CTS, DTR, DSR の制御線をソフトウェアで制御や監視が可能です。

同梱品

□ 本体[COM-2C-PE] …1
□ 必ずお読みください…1

外形寸法



外形寸法の (L) は、基板の端から
スロットカバーの外側の面までのサイズです。

仕様

機能仕様

項目	仕様
チャネル数	2ch
入出力仕様	RS-232C
伝送方式	非同期シリアル伝送
ボーレート	2 - 921,600bps ※1※2
データ長	5、6、7、8 ビット 1、1.5、2 ストップビット ※1
パリティチェック	イーブン、オッド、ノーパリティ ※1
搭載 LSI	162850 相当品 (FIFO バッファは、各チャネルに送信用 128byte、受信用 128byte)
信号延長可能距離	15m 以内
割り込み	1 点使用 ※3
I/O アドレス	8 ビット×32 ポート占有
消費電流	3.3VDC 500mA(Max.)
バス仕様	PCI Express Base Specification 1.0a x1
外形寸法(mm)	121.69(L) ×110.18(H)
質量	90g

※1 ソフトウェアによって設定することができます。
当社製デバイスドライバ COM-DRV(WDM)では、15 - 921,600bps となります。
※2 高速でデータ伝送する場合は、ケーブルの材質や環境などによって正常な伝送ができない場合があります。
※3 各チャネルからの割り込み信号は、1 つの割り込み信号にまとめられ出力されます。

設置環境条件

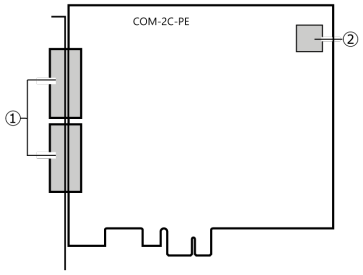
項目	仕様
使用周囲温度	0 - 50℃
使用周囲湿度	10 - 90%RH(ただし、結露しないこと)
浮遊粉塵	特にひどくないこと
腐食性ガス	ないこと
規格	VCCI クラス A、CE マーキング(EMC 指令クラス A、RoHS 指令)、UKCA

サポートソフトウェア

名称	内容	入手先
Windows 版 シリアル通信ドライバ COM-DRV(WDM)	Windows 上で、本製品をパソコン本体の COM ポートと同様にご使用頂くためのソフトウェアです。本ソフトウェアは、OS 標準の Win32 API における DCB 構造体を用いた通信および.NET における SerialPort クラス、Python における pySerial モジュールに対応しています。C#や Visual Basic .NET、Visual C++、Python などの各種サンプルプログラムや動作確認に便利な診断プログラムが付属しています。	当社 Web サイトよりダウンロード ※1
Linux 版 シリアル通信ドライバ COM-DRV(LNX)	Linux 上で、本製品をパソコン本体の COM ポートと同様にご使用頂くためのソフトウェアです。本ソフトウェアは、Linux 標準の tty ドライバに準拠しており、Python における pySerial モジュールに対応しています。gcc(C,C++)や Python の各種サンプルプログラムを付属しています。	当社 Web サイトよりダウンロード ※1

※1 以下の URL よりダウンロードしてご使用ください。
https://www.contec.com/jp/download/

各部の名称

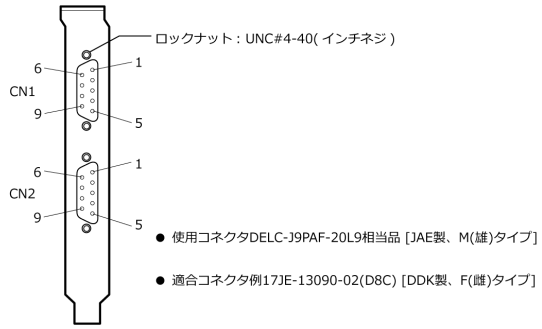


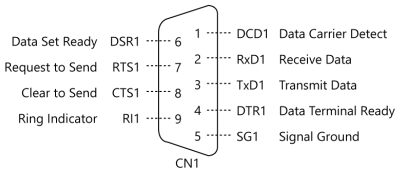
No.	名称
①	インターフェイスコネクタ(CN1、CN2)
②	ボード ID 設定用スイッチ(SW1)

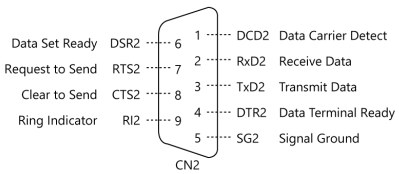
外部機器との接続

ボード上のコネクタから直接接続する

ボード上のコネクタから直接外部機器に接続する場合は、市販のケーブルなどを使用してください。



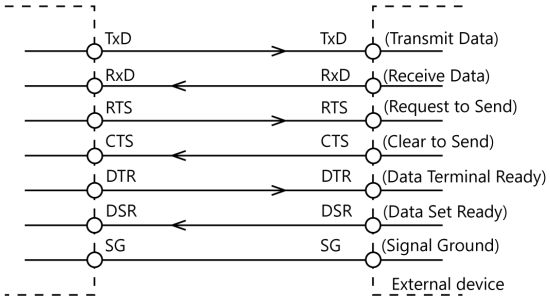




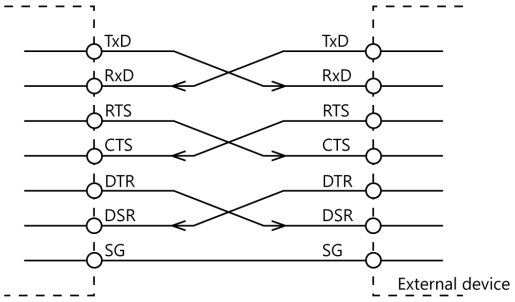
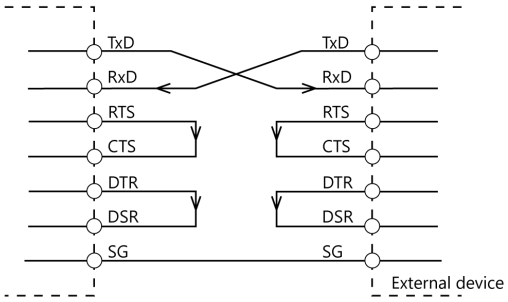
ケーブルの種類と接続例

RS-232C インターフェイスの接続は、モデムやコンピュータ(パソコン)などのように、接続する機器によって使用するケーブルが異なる場合があります。したがって、ケーブルは接続する外部機器の仕様を確認の上、その種別(仕様)によってストレートタイプ、あるいはクロス(リバース)タイプを用意してください。さらに、コネクタ内で信号線処理の必要がある場合には、仕様に合わせ適切に処理を行ってください。

モデムとの接続例 (ストレートケーブル)



パソコンとの接続例 (クロスケーブル)



機器との接続例